

教育実習を終えて

福本瑞希

(令和二年三月卒)

二週間という短い教育実習を終え、私は新たな目標に向かつて歩んでいきます。この二週間の教育実習は、将来について悩んでいた私自身に大きな影響を与えてくれました。この場ではありますが、私が体験したことや感じたことを綴らせて頂きます。

緊張で迎えた1日目は、正直余り覚えていません。人見知りということもあり、先生方への態度や生徒との接し方など上手にできるのか心配で仕方ありませんでした。このような気持ちでしたが二週間続くのかと思っていました。が、気づけば三日目には生徒たちに授業を行っていました。二週間ということもあり、やるべきことが沢山あったので、日に日に大変だと思うことが増えていきました。生徒に分かりやすく伝えるには、授業展開はどのようなにするかなど考えることは沢山ありました。そんな中、私が一番印象に残っていることは、授業中での生徒との接し方です。どこまで生徒に踏み込んでいいのか分からなくなることもありましたが、先生と呼ばれる立場でもあったので、自信を失いかけることもありました。そんな中でも心の支えになったのが、先生

方のアドバイスや一緒に来ていた実習生からの励ましです。そして一番の支えとなったのが生徒たちです。落ち込んでいても、生徒たちは元気に声をかけてくれたり、話してくれたりしました。先生方のアドバイスからはもちろん、生徒たちとの会話の中でも得られることが沢山ありました。私自身、悩んでいたことも多かったのですが、とても助けになりました。

不安でいっぱいだった教育実習も終盤に差し掛かった頃、私自身の目標も明確になっていきました。今まで自分自身、何がしたいのか考えてはいましたが、ぼんやりとしたもので明確には決まっていりませんでした。この教育実習で、先生方や生徒たちと関わっていくうちに考えがまとまり、現在私が取り組んでいる陸上競技を続けたいと思うようになりました。また、陸上競技を教える立場にもなりたいとも思いました。教育実習では沢山のことを学ぶことができたが、自身の目標が明確になったことが一番の収穫だと思えます。また、沢山学ぶことができたのは、東温高校の生徒たちのおかげです。私は、この教育実習で学んだことを次の目標だけでなく、これからこの人生にも活かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。